

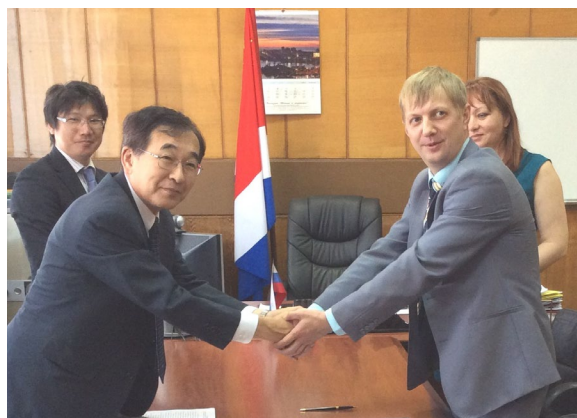
ロシア沿海地方におけるスマートアグリプラント事業モデルの共同策定 ～JFEエンジニアリングとロシア国沿海地方政府で～

JFE エンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：狩野久宣）はこのたび、ロシア国沿海地方政府と共同で、沿海地方に最適なスマートアグリプラント事業モデルを策定していくことに合意しましたので、お知らせします。

当社は2014年8月より、北海道苫小牧市において天然ガスや木質バイオマスをエネルギー源とするスマートアグリプラントを建設し、野菜類の生産を行っています。現在、一年を通じて出荷しているトマトやベビーリーフは、多くの小売店に流通し、お客様から高い評価を得ています。

一方、ウラジオストク周辺の沿海地方では、夏季には地元産野菜の入手が可能ですが、冬季には温室による野菜栽培が行われていない状況にあります。このため、安全安心な野菜を地元で通年生産できる温室栽培の推進を、沿海地方政府は重要施策にしています。

このような背景から、当社のスマートアグリプラントが注目され、今般、同地におけるスマートアグリプラントの事業モデルの共同策定に合意致しました。両者は今後、ワーキングチームを設置し、苫小牧における当社の栽培実績をベースにして、同地の気象条件、エネルギー源などにもっとも適合するプラントのモデルを策定してまいります。



□ボチカリョフ沿海地方農業食糧局局長（右）と
当社加門洋一代表取締役副社長